

主要施策の概要

I 安心・支えあい最優先

市民の安全・安心の確保と、地域の支えあいを醸成していく取り組みを進める。

1. 防犯カメラによる安全・安心なまちづくりの推進 【予算額 70,648 千円】

- 市内の全ての公園(203園)に防犯カメラを設置する。また、自治会が1台2万円程度で防犯カメラを設置できるよう、設置費用の9割を補助するキャンペーンを継続し、犯罪の未然防止と早期解決を強力に推進する。

2. 「災害に強い箕面」の実現 【予算額 6,795 千円】

- 箕面8丁目平和台住宅の北西部など、土砂災害の人的な危険度が高い地域から順次、調査・測量を進めるほか、大阪府の土砂災害対策の新制度を活用し、「箕面市のレッドゾーン*人口ゼロ」をめざす。(*レッドゾーン:土砂災害特別警戒区域)

3. 消防・救急体制の充実 【予算額 1,416,846 千円】

- 本年4月から豊能町の消防業務を箕面市消防本部に統合する。従来の7隊108名から10隊141名体制とし、火災・救急が同時に複数発生した場合にも迅速に対応するなど、広域化のメリットを生かした消防力・救命力の強化を図る。
- 住宅用火災警報器の設置や住宅防火診断、木造住宅の耐震化を大きく促進するため、消防職員による全戸訪問を開始する。

【予算額 合計 151,687 千円】

4. 健康長寿の取組強化 (平成 27 年度補正予算額 83,100 千円/平成 28 年度当初予算額 68,587 千円)

- 稲ふれあいセンターにおいて、大阪大学医学部と共同で高齢者の筋力や柔軟性、バランス能力などの向上に向けた実証研究を実施する。
- シニアグループなどの活動を強力にサポートするため、シニア活動応援交付金を交付する。また、受講希望者の多いシニア塾の拡大を実施し、高齢者が健康で生きがいを持って活躍・活動できるよう支援する。
- 持病などの医療情報や緊急連絡先を記した「(仮称)救急安心カード」を作成する。75歳以上の高齢者など約2万2千名に配布し、各家庭の冷蔵庫に掲示していただき、緊急時に救急隊が迅速に措置できるよう備えを強化する。

5. 子どもの「見守りサービス実証実験」を実施

- ペンダントサイズの小型発信機を全ての小中学生に配布し、子どもが安心して外出できるよう、市全域で「見守りサービス実証実験」を実施する。今後は、認知症などで見守りが必要な高齢者への拡大もめざす。

II 子育てしやすさ日本一

子育てがしやすく、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境を整える。

1. 英語教育の強化 【予算額 156,577 千円】

- 昨年増員した市立小中学校の外国人英語指導助手を、さらに1.5倍の33名に拡大する。これにより各校の全クラスで最低週1回以上、ネイティブによる英語の授業を実現する。

2. 教育環境の充実 【予算額 386,172 千円】

- 小中一貫校「彩都の丘学園」で46教室分、小中学校で8教室分の校舎増築工事に着手する。また、小中一貫校「とどろみの森学園」での第2期増築(19教室分)に向けた詳細設計を開始する。
- 平成27年度に増設した5校に加え、待機児童が発生しないよう、児童数の増加が見込まれている萱野東、彩都、中、止々呂美の4つの小学校で学童保育室を増設する。

3. 待機児童対策と子育て支援の充実 【予算額 824,256 千円】

- 年度当初だけではなく、いつでも子どもを預けられる“通年の待機児童ゼロ”をめざし、平成31年度(2019年度)までに485名分の保育所定員を拡大するため、運営法人を公募し、早期整備を進める。
- 市内の民間保育所に勤務する、市内在住の保育士に月額2万円補助するとともに、保育課程を学ぶ提携大学の学生に月額2万円を支援し、保育士の育成・確保を図る。

- 豊川支所など公共施設5箇所にキッズコーナーを整備するとともに、ライフプラザの芝生広場に0歳・1歳・2歳の乳児に特化した“キッズパーク”を設営し、親子連れの外出・交流を促進することで、子育ての孤立化を防ぐ。

4. 「貧困の連鎖」根絶に向けた対策の推進 【予算額 3,000 千円(平成 27 年度補正予算)】

- 経済的な困窮など課題を抱える家庭において、乳幼児期から小中学校、高校まで切れ目なく成長をサポートする専任組織を発足させ、貧困が世代を超えて連鎖する、いわゆる「貧困の連鎖」の根絶に着手する。

5. 学校力向上のための人員の加配 【予算額 14,105 千円】

- 小学校・中学校・小中一貫校の3校を「学校力向上パイロット校」に指定して、市独自に人員を加配し、教務主任・研究主任・生徒指導主事を専任化することで、学校のマネジメント機能を強化する。また、事務補助業務を担う校務員を増員し、教職員が授業に専念できる環境を整える。

III 緑・住みやすさ最先端

豊かな緑を守り、便利で住みやすく、元気で活力ある箕面をめざして、まちづくりを進める。

1. コンビニエンスストアでの住民票等の発行サービス開始 【予算額 23,311 千円】

- 平成29年1月から、コンビニエンスストアで住民票等の証明書発行サービスを開始する。マイナンバーカードにより、午前6時半から午後11時まで証明書発行が可能となり、市民サービスの向上を図る。

2. 桜井駅周辺地区の再整備 【予算額 121,026 千円】

- 桜井駅東側で進む土地区画整理事業にあわせ、駅前広場の整備に向けてコミュニティ広場とプロムナードの工事に着手し、箕面の西の玄関口にふさわしい、にぎわいと活気にあふれた魅力ある桜井駅前をめざす。

3. 自転車走行レーンの整備 【予算額 81,954 千円】

- 箕面駅から牧落踏切までの市道など全3路線(全3.85km)において、青い自転車走行レーンを整備し、自転車の安全対策を推進する。今後は、市内の主要な店舗・施設間を結ぶ自転車走行レーンの全市展開をめざす。

4. 都市計画道路の整備 【予算額 860,269 千円】

- 北大阪急行線の新駅へのアクセス道路となる萱野東西線や、芝如意谷線(萱野東西線以南)の早期整備に向けて、用地交渉や測量・設計などを進め、平成32年度の供用開始をめざす。
- 本年1月に彩都から府道茨木能勢線までの区間(第一区間)が開通した国文都市4号線について、山麓線(府道箕面池田線)までの第二区間の測量・設計作業を進め、平成32年度の供用開始をめざす。

5. 上下水道事業の老朽管対策と下水道使用料の値下げ 【予算額 963,790 千円】

- 「上下水道施設整備基本・実施計画」に基づき、老朽管路の計画的な更新を進めるとともに、本年4月より、年間912円(1戸当たり平均額)の下水道使用料引き下げを実施する。

<北大阪急行線の延伸と周辺まちづくり> 【予算額 5,712,060 千円】

- 平成32年度の開業をめざし、新駅予定地となるかやの中央駐車場の解体に着手する。また、(仮称)箕面船場駅から(仮称)新箕面駅にかけての新御堂筋沿いで、鉄道整備に支障となる水道管・ガス管移設などの工事を開始する。
- バス路線網について、現在の千里中央駅や北千里駅を中心としたバスルートを、新駅を中心としたバスルートへ再編するための調査・検討に着手し、市域全体の交通利便性の向上をめざす。
- (仮称)箕面船場駅前への大阪大学箕面キャンパス移転をはじめ、市民文化ホールや歩行者デッキなど、新駅周辺まちづくりの整備を進める。